

防災週間!

児童・生徒の防災意識の向上を図り、自然災害から命を守る知識や技能を身につける。今までの経験や体験を振り返り、各学年の目標について考えることができる、をねらいとして、今年

度も、防災週間に取り組みました。震災を体験した地域として『語り継ぐ』ことが人の命を守る防災に繋がっていくことと考え、この防災週間を通して、生徒一人一人が震災を知らない子供たちや将来生まれてくる子供たちに、どんなかたちで『語り継ぎ』をしたらよいか深く考えることができると願っています。

防災週間	11月5日(火)から11月8日(金)
実施内容	11月5日(火)「こころの授業」
	11月7日(木) 応急手当講習会
	11月7日(木) 小中合同避難訓練
	11月8日(金) 防災授業
	11月13日(水) 防災週間の振り返り

こころの授業



スクールカウンセラーの吉永弥生先生が「防災週間を迎えるにあたって～こころの授業～」のテーマで授業をしました。リラクゼーションを行なった後、防災週間の

目的を「自分の命を自分で守る」「活動をとおして人と繋がる」「自分の体験をふり返る機会」「震災を体験したみんなにできること、みんなだからできること」の4項目に分けて説明をしながら、これから自分に出来ることを生徒一人一人が考えられるように、震災と向き合うことの大切さについて学ぶことができました。

生徒の振り返り

●授業をやってみてたくさん思ったり、考えたりして、自分では、考えないことを他の人たちが出していて、深く考えることができ

て良かった。自分の考え方が変わってきたように感じました。(7年)

●何かあると色々な事を考えられるようになった。友達の意見は、おもしろくとても参考になった。(8年)

●短所は考え方を変わると長所になることが分かった。長所のことを考えるのも難しいけど、短所を書けると言われると、それも難しいなと思った。ポジティブに考えることが大切なことなのだと思います。(9年)

応急手当講習会

って発生した傷害に対して、応急手当の知識や技能を身につけ、災害時にも自ら判断し、主体的に行動できる態度を育てることを目的に行いました。講師は、大槌消防署の消防隊員5名の皆さんです。止血法や搬送法、心肺蘇生法、AEDの使い方について、丁寧に指導していただきました。

生徒の振り返り

●胸骨圧迫の仕方、1分間に100回もやることや胸骨を押すことで骨が折れてしまうこともあるんだなぁと知りました。今回習ったことをこれから生かしていきたいです。(7年)

●AEDの使用方法などが分かりました。さらに、即席で、担架を作ったり、人を運んだりする方法や止血の方法、心肺蘇生の仕方も分かりました。もしも、自分がやらないといけない状況になったら頑張りたいと思いました。(8年)

●3年目で忘れていたことも思い出すことができた。本当に人が倒れていたら、自分たちからしっかり動いていこうと思いました。5～6cm押すこと、心臓にうまく血液が流れるようにすることはけっこう難しいと思った。(9年)

様々な災害や事故等によ



防災授業

今年度は、以前教員として釜石市内にもお勤めになり、現在は、文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育調査官をなされている、森本晋也先生に講師をお願いしました。震災のみならず、近年の台風や大雨・洪水等により避難や備え、その際の自己判断・考え方について、知識や大切にしなければならないことを学びました。

生徒の感想●今日の防災授業では、台風で起こる災害に、どう対応すれば良いのかや、もしそうなったときの計画のようなものを書くことができて良かった。とても楽しかった。(7年) ●天気予報をしっかりと見て、備えられるものは事前に準備をし、家の人の状態などを把握して、どんな事に注意すれば良いのか、状況として家に居た方が良いのか避難した方が良いのかなどを見極めて判断することなど、これからの生活に生かしていきたい。今日の授業で学んだことを日々活用できるようにしたいと思いました。(8年) ●今日の授業で、自助、共助、公助の意味が分かった。自分の命は自分で守ろうと思った。周りに流されず、自分でどうするか判断できるようになりたい。自分もボランティアとかできることがあったらやりたいと思った。中学生の行動がすごいと思った。自分のできることを見つけてやっていたら素晴らしいと思った。(9年)



小中合同避難訓練

昨年度から、下校途中に緊急地震速報を聞き、その場で安全確保(防御訓練)を行い、その後、一番近い避難場所を自分で判断し避難する。避難後は、中学部の生徒が避難している児童生徒の人員を確認するという訓練を行いました。生徒たちは、これまでの授業で学んだ「備えることの大切さ」をしっかりと考え、行動することができた避難訓練でした。この訓練を実施するにあたり、大槌町役場、大槌町教育委員会、消防署、警察署、消防団、スクールガードの方々などの協力をいただきました。本当にありがとうございました。**生徒の感想**●サイレンが鳴ったときに建物が倒れてこないところへすぐ行くことができたし、走って避難場所に行くことができたけれど、小学校と神社、どちらに行くかでちょっと迷ったので、次はしっかりと判断したいと思った。(7年) ●避難開始の指示が出たときに、素速く高い安全な場所へと避難することができたのでよかったと思う。さらにその場所からどこへ逃げたら良いのかをすぐに判断し、向かうこともできたので良かった。(8年) ●サイレンが鳴ったとき、周りを確認し、頭を守り、放送がなってから、走ってしっかりと避難することができたのでよかったと思います。避難場所では、小学生も含めて、自分たちで静かに並んでいたのが良かった。(9年)



吉里中合唱「みんなが一つに！」

11月6日(水)に釜石市民ホールで、釜石地区中学校文化連盟主催の連合音楽会が行なわれました。吉里吉里学園中学部は全校生徒で参加し、「ほらね」「ヒカリ」の2曲を合唱しました。人数の少なさを感じさせない、元気の良さ、のびのびと丁寧に歌っていて、各パートのハーモニーもよかったと思います。会場に響き渡るように、本当にみんな気持ち良さそうに歌っていたように感じました。2曲とも指揮、伴奏とも本当に頑張っていました。人数の違いはありましたが、他の中学校との合唱を聞きあうことは大きな意味のある活動です。他校の良さをこれからの合唱活動に生かし、ますます吉里中の合唱文化を発展させていきたいと改めて感じました。

釜石・大槌地区連合音楽会

11月6日(水)に釜石

